

資料 事業系ごみに関するアンケート調査結果<速報>

1 調査目的及び概要

このアンケート調査は、「宇部市一般廃棄物処理基本計画」の改定にあたり、ごみの分別やごみ減量の取組等について、事業者の方々からご意見をお聞きすることを目的に実施したものです。

事業系ごみに関するアンケート調査は、令和3年5月1日～5月21日まで宇部市の事業者（無作為抽出による500事業者）を郵送及びインターネット回答により実施しました。

■ 調査概要

調査対象	宇部市内事業者
配布数	500事業者 郵送
回答者数	132事業所（回答率：26.4%）
調査方法	・二次元コードを利用したうべ電子申請サービスまたはファックスによる回答 ・郵送または持参
調査期間	令和3年5月1日～21日（21日間）

注）本報告書の見方について

- ・ 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しました。
- ・ このため、合計が100%に満たなかったり、超えたりする場合があります。
- ・ 質問の終わりに複数回答可とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい質問であり、合計比率は100%を超える場合があります。
- ・ 「無効回答」は、選択肢が1つの設問に対し複数回答があったものとしています。
- ・ このため、各区分の標本数の合計が全体の標本数と一致しない場合があります。

■ アンケート用紙

【事業系ごみに関するアンケート】

平素から、ごみの減量と適正処理にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

このアンケートは、「宇部市一般廃棄物処理基本計画」の改定にあたり、ごみの減量の取組等について、事業者の皆様からご意見をお聞きすることを目的に実施するものです。事業系ごみ(事業系一般廃棄物)を対象としてお答えください。

<参考> 宇部市のごみ排出量・リサイクル率と目標値

○現状値(令和2年度)

・一人一日あたりのごみ排出量:979g

(平成30年度 国:918g 山口県:987g)

・リサイクル率:30.0%

(平成30年度 国:19.9% 山口県:30.6%)

○目標値(令和3年度)

・一人一日あたりのごみ排出量:840g

・リサイクル率:40.0%

■□ 回答についてのお願い □■

令和3年5月21日(金)までに、うべ電子申請サービス(下記二次元コード)で回答をお願いします。または、下記のいずれかの方法により提出していただくようお願いいたします。

【うべ電子申請サービス】

(二次元コード参照→)

【郵送または持参】



〒755-0001 宇部市大字沖宇部字沖ノ山5272番地6

宇部市 廃棄物対策課

【FAX送信先】0836(33)-7294

【メール】reduce@city.ube.yamaguchi.jp

お問い合わせ 宇部市廃棄物対策課 ☎34-8247

貴社のことについてお尋ねします。

- 【業種】 1. 農林漁業 2. 建設業 3. 製造業 4. 運輸業・郵便業 5. 卸売業, 小売業 6. 金融業, 保険業 7. 不動産業 8. 学術研究, 専門・技術サービス業 9. 宿泊業・飲食サービス業 10. 生活関連サービス業, 娯楽業 11. 教育, 学習支援業 12. 医療, 福祉 13. その他()

- 【事業形態】 1. 飲食店 2. 小売店 3. 事務所・営業所 4. 理容・美容店 5. 医療機関 6. 社会福祉・介護施設 7. 学校・保育所・学習施設 8. 工務店 9. 工場・作業場 10. ホテル・旅館 11. その他()

【従業員数】 1. 9人以下 2. 10~29人 3. 30~49人

4. 50~99人 5. 100~299人 6. 300人以上

ごみ処理に関することについてお尋ねします

問1 ごみの処理などごみに関する情報は、どのようにして知ることが多いですか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

1. 市のパンフレット・チラシ
2. インターネット (宇部市公式ウェブサイト)
3. SNS (宇部市公式LINEなど)
4. 同業者や加盟団体からのお知らせ
5. その他()

問2 事業活動に伴って発生するごみの処理責任について市は収集せず、事業者自らの責任で処理する必要があることを知っていますか。

1. 知っている
2. 知らない

問3 あなたの事業所でのごみの減量化・リサイクルへの取り組みについてあてはまる番号にすべて○をつけてください。

1. 生ごみ処理機を導入している
2. 使い捨て製品を使わないようにしている
3. 簡易包装を実施している
4. 食べ残し、調理くずが少なくなるような工夫をしている
5. フードバンクに提供している
6. 資源物の分別を徹底している
7. リースやレンタルを積極的に活用している
8. 店頭回収・資源回収等を利用している
9. 適正な在庫管理を心掛けている
10. 社員に対して、環境教育を行っている
11. 特になにも取り組んでいない
12. その他()

問4 リサイクルの方法について。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

1. 資源回収業者に引き渡している
2. 自ら市の処理施設に持ち込んでいる
3. 小売店や販売店の店頭回収に出している
4. 納入業者に返却している
5. その他()

問5 事業所で発生する紙類の種類についてあてはまる番号にすべて○をつけてください。

1. 新聞・ちらし
2. 雑誌・書籍、パンフレット等
3. 段ボール
4. コピー用紙等の事務用紙
5. シュレッダーくず
6. 紙製容器包装・紙パック
7. 紙類はほとんど発生しない
8. その他()

問6 問5で1～6を選択した事業者におききます。リサイクルされているものについて、あてはまる番号にすべて○をつけてください。

1. 新聞・ちらし
2. 雑誌・書籍、パンフレット等
3. 段ボール
4. コピー用紙等の事務用紙
5. シュレッダーくず
6. 紙製容器包装・紙パック
7. その他()

問7 ごみの減量化やリサイクルに取り組む理由についてあてはまる番号にすべて○をつけてください。

1. 経費削減のため
2. 企業の宣伝やイメージアップのため
3. 企業としての社会的責任を果たすため
4. 法律の規制があるため
5. 業界全体で取り組んでいるため
6. 競合他社が取り組んでいるため
7. ごみの保管場所が無いため
8. その他()

問8 ごみの減量化やリサイクルに取り組むうえでの問題点についてあてはまる番号にすべて○をつけてください。

1. 取り組む意義がわからない
2. 方法がわからない
3. 経済的メリットが少ない
4. 手間がかかる
5. 分別した資源の保管場所がない
6. リサイクルするほどのごみ量がない
7. 適当な回収業者が見当たらない

8. 本社に決定権があるため、本社の指示に従うしかない
9. 従業員への分別徹底やごみ減量に関する意識啓発がむずかしい
10. 特に問題はない
11. その他()

問9 行政に求める支援について、あてはまる番号にすべて○をつけてください。

1. 収集業者や処理業者に関する情報提供
2. 法律や条例等の規制に関する情報提供
3. 事業所へのごみ減量化・リサイクルに関する相談員等の派遣
4. ごみ減量化・リサイクルに関する事例の紹介
5. ごみ減量化・リサイクルの方法を示したマニュアル
6. その他()

問10 今後、本市が取り組むごみ減量化施策として効果的であると思う施策は何ですか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

1. 事業者に対する啓発や指導の徹底
2. ちらしや冊子等でごみ減量化・リサイクルの方法を紹介
3. 自社のごみ減量化・リサイクルに関する取組を市のウェブサイト等でPR
4. ごみ減量化・リサイクルの取組に関する表彰制度
5. 収集運搬業者やリサイクル業者に関する情報提供
6. 事業者を対象とした廃棄物の講習会の開催
7. 特になし
8. その他()

問11 ごみの減量やリサイクル推進のための提案(アイデア)がありましたら、ご記入ください。

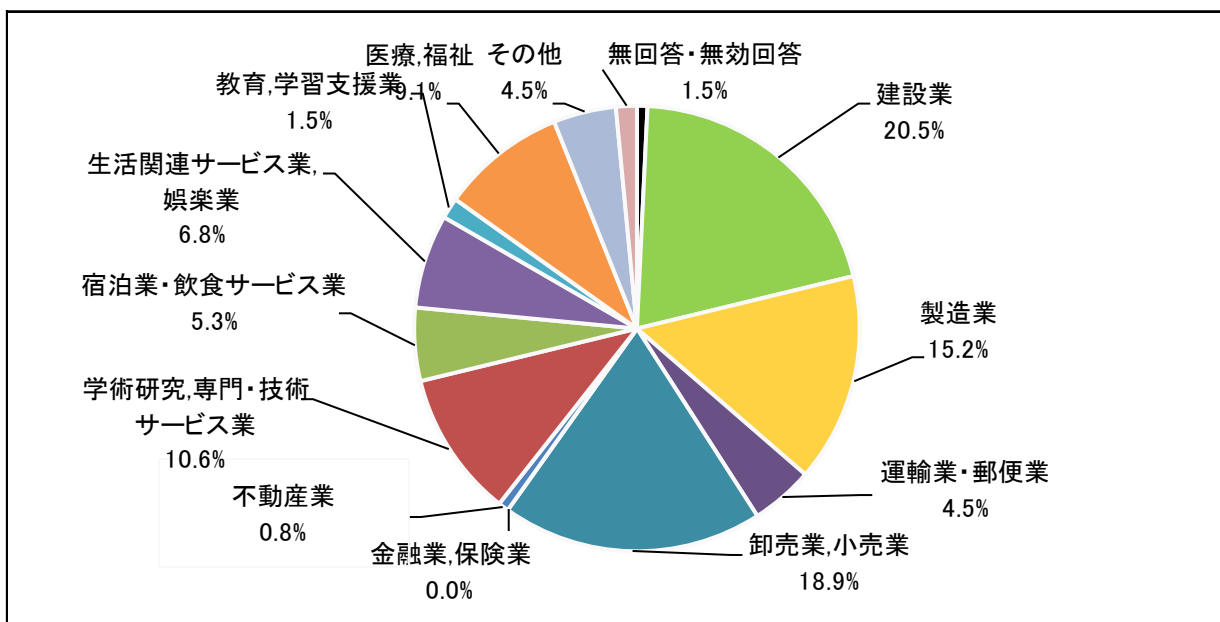
[]

アンケートは以上です。
ご協力ありがとうございました。

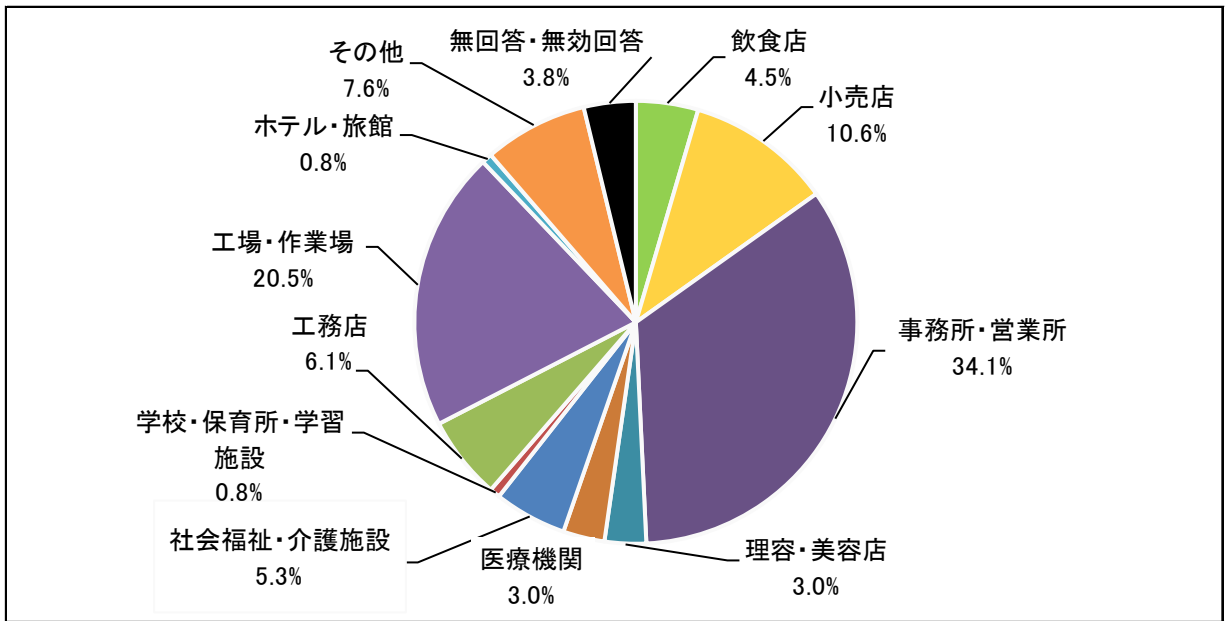
2 調査結果

1 回答者の属性

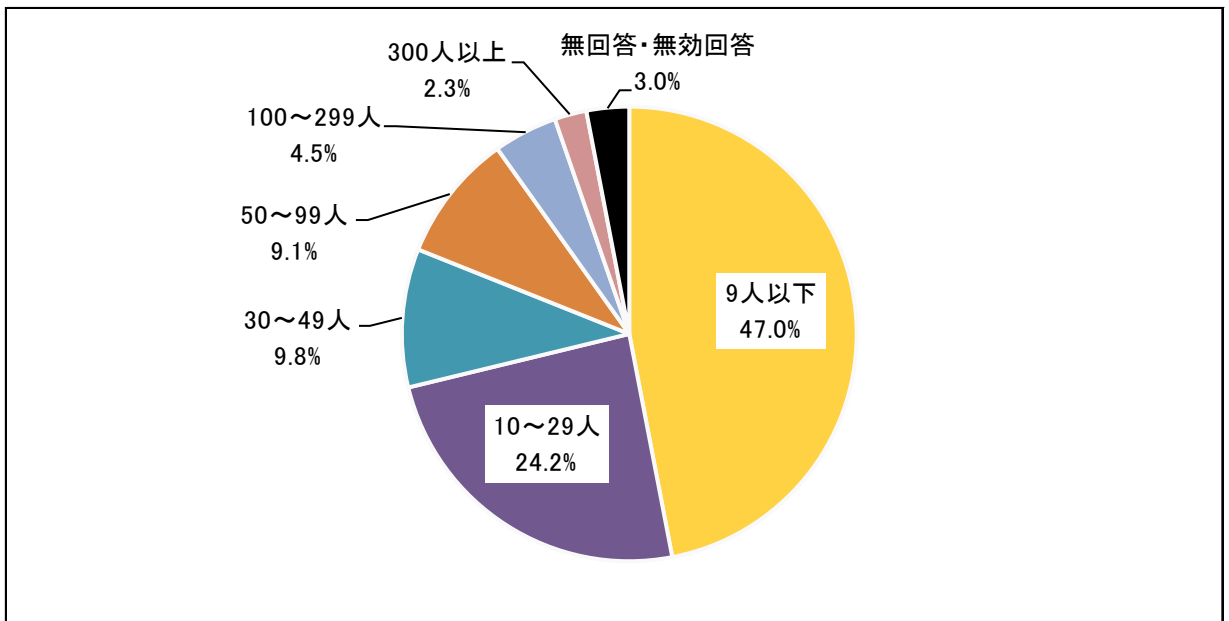
業種		
① 農林漁業	1件	0.8%
② 建設業	27件	20.5%
③ 製造業	20件	15.2%
④ 運輸業・郵便業	6件	4.5%
⑤ 卸売業,小売業	25件	18.9%
⑥ 金融業,保険業	0件	0.0%
⑦ 不動産業	1件	0.8%
⑧ 学術研究,専門・技術サービス業	14件	10.6%
⑨ 宿泊業・飲食サービス業	7件	5.3%
⑩ 生活関連サービス業,娯楽業	9件	6.8%
⑪ 教育,学習支援業	2件	1.5%
⑫ 医療,福祉	12件	9.1%
⑬ その他	6件	4.5%
無回答・無効回答	2件	1.5%
回答数	132件	-



業務形態		
① 飲食店	6件	4.5%
② 小売店	14件	10.6%
③ 事務所・営業所	45件	34.1%
④ 理容・美容店	4件	3.0%
⑤ 医療機関	4件	3.0%
⑥ 社会福祉・介護施設	7件	5.3%
⑦ 学校・保育所・学習施設	1件	0.8%
⑧ 工務店	8件	6.1%
⑨ 工場・作業場	27件	20.5%
⑩ ホテル・旅館	1件	0.8%
⑪ その他	10件	7.6%
無回答・無効回答	5件	3.8%
回答数	132件	-

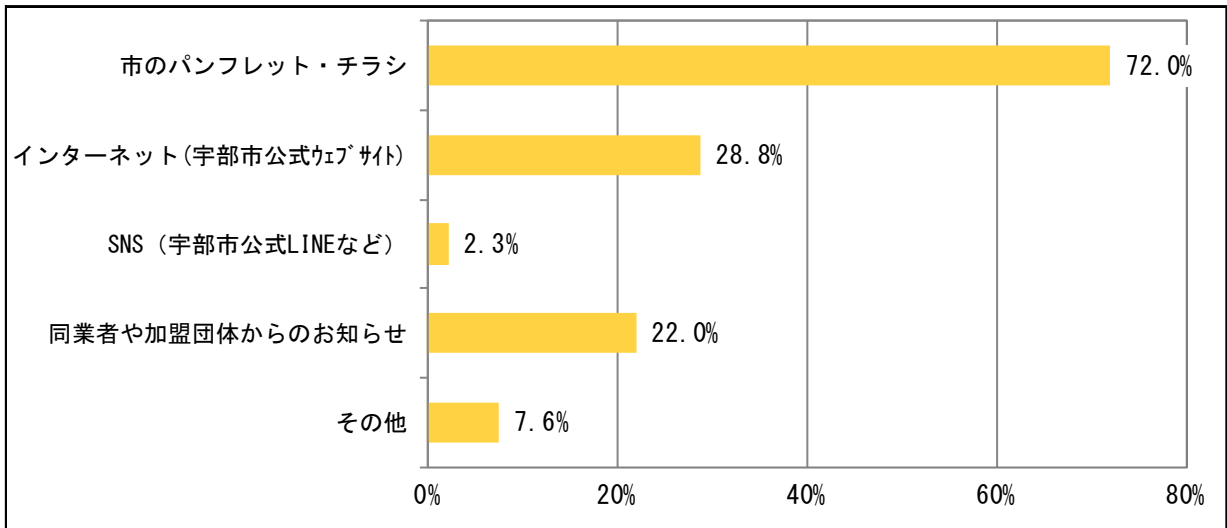


従業員数		
① 9人以下	62件	47.0%
② 10～29人	32件	24.2%
③ 30～49人	13件	9.8%
④ 50～99人	12件	9.1%
⑤ 100～299人	6件	4.5%
⑥ 300人以上	3件	2.3%
無回答・無効回答	4件	3.0%
回答数	132件	-



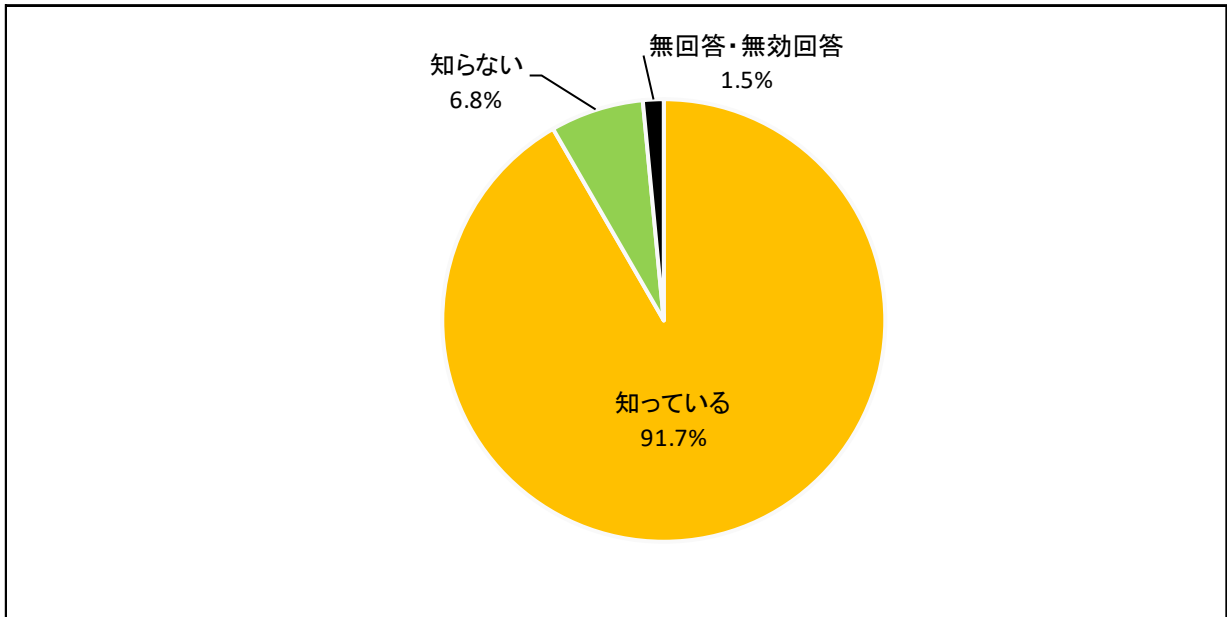
2 回答結果

問1 ごみの処理などごみに関する情報は、どのようにして知ることが多いですか。（複数回答）		
① 市のパンフレット・チラシ	95件	72.0%
② インターネット（宇部市公式ウェブサイト）	38件	28.8%
③ SNS（宇部市公式LINEなど）	3件	2.3%
④ 同業者や加盟団体からのお知らせ	29件	22.0%
⑤ その他	10件	7.6%



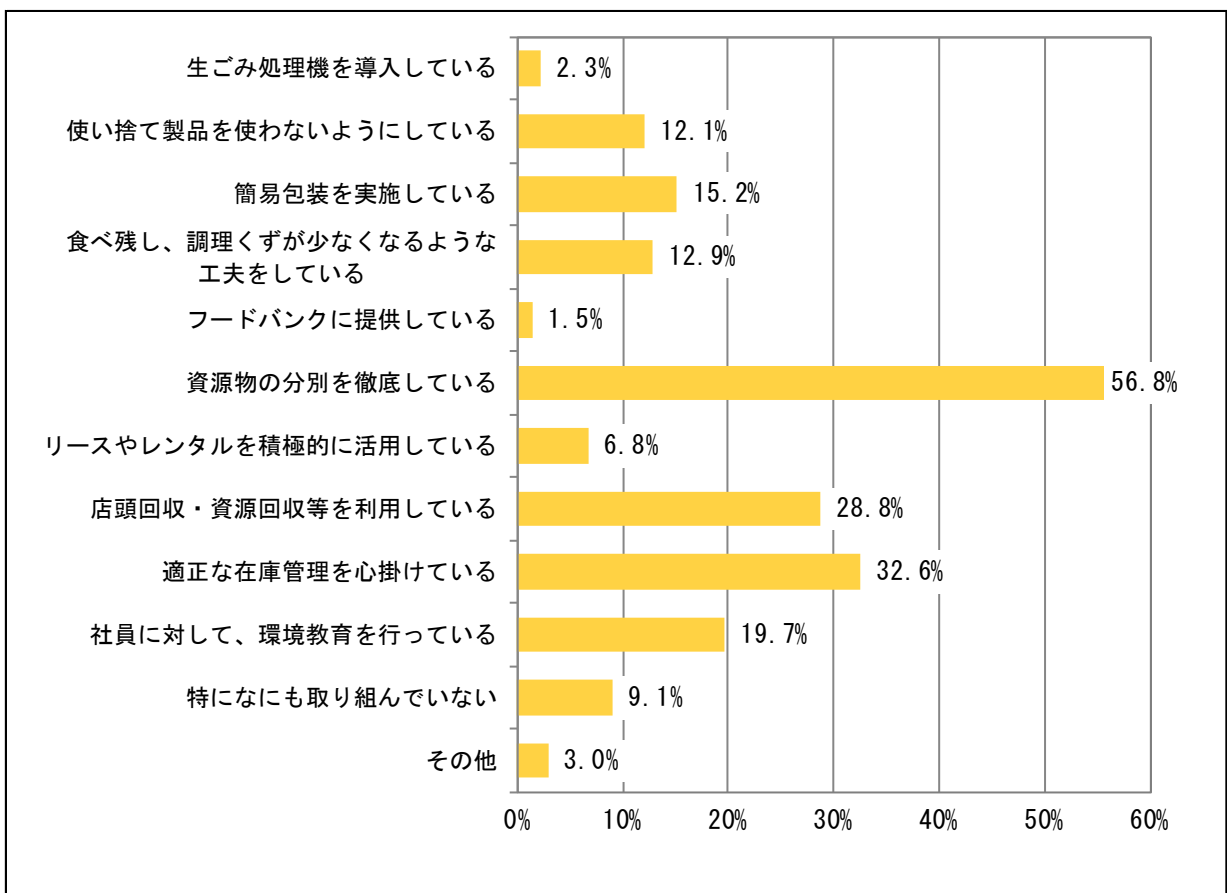
ごみ処理などに関する情報について、「市のパンフレット・チラシ」で情報を得ている事業者が多く、72%の回答となっています。

問2 事業活動に伴って発生するごみの処理責任について市は収集せず、事業者自らの責任で処理する必要があることを知っていますか。（複数回答）		
① 知っている	121件	91.7%
② 知らない	9件	6.8%
無回答・無効回答	2件	1.5%



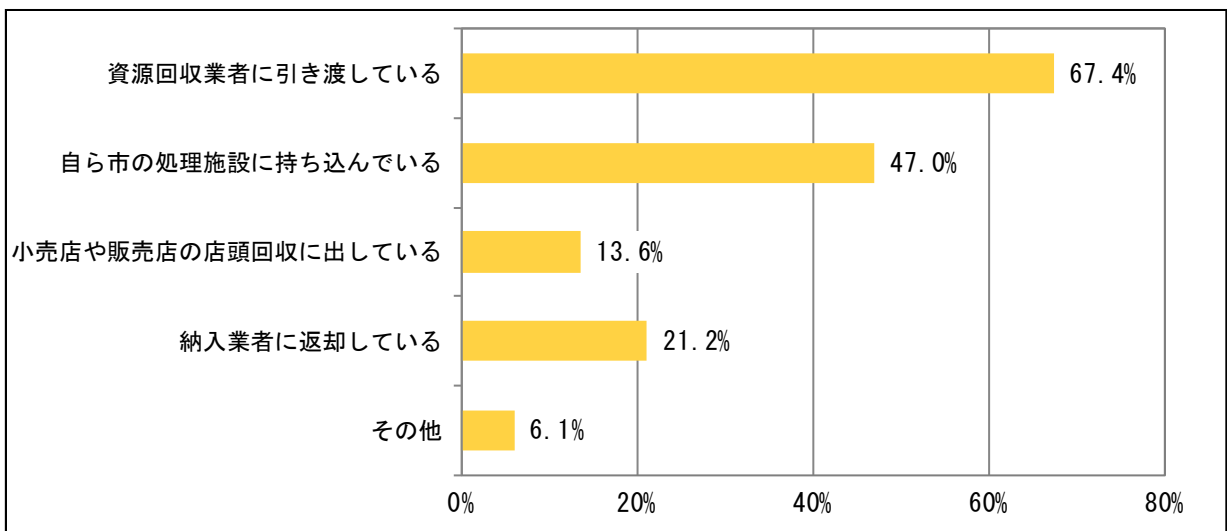
事業活動に伴うごみ処理責任について、90%以上が「知っている」と回答し、周知徹底されていますが、約7%は「知らない」としており、さらに周知していく必要があります。

問3 あなたの事業所でのごみの減量化・リサイクルへの取り組みについて（複数回答）		
① 生ごみ処理機を導入している	3件	2.3%
② 使い捨て製品を使わないようにしている	16件	12.1%
③ 簡易包装を実施している	20件	15.2%
④ 食べ残し、調理くずが少なくなるような工夫をしている	17件	12.9%
⑤ フードバンクに提供している	2件	1.5%
⑥ 資源物の分別を徹底している	75件	56.8%
⑦ リースやレンタルを積極的に活用している	9件	6.8%
⑧ 店頭回収・資源回収等を利用している	38件	28.8%
⑨ 適正な在庫管理を心掛けている	43件	32.6%
⑩ 社員に対して、環境教育を行っている	26件	19.7%
⑪ 特になにも取り組んでいない	12件	9.1%
⑫ その他	4件	3.0%



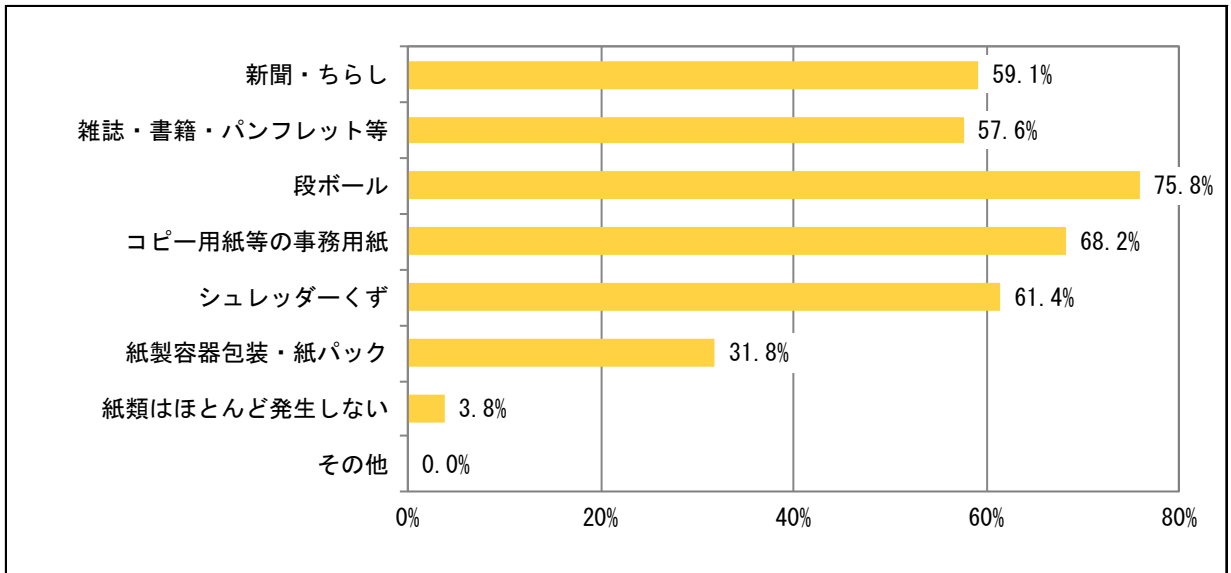
ごみ減量化・リサイクルの取組について、「資源物の分別を徹底している」が約57%と最も多く取り組んでいます。それ以外の項目についても事業所によってばらつきがあるものの、様々な取り組みが行われています。

問4 リサイクルの方法について（複数回答）		
① 資源回収業者に引き渡している	89件	67.4%
② 自ら市の処理施設に持ち込んでいる	62件	47.0%
③ 小売店や販売店の店頭回収に出している	18件	13.6%
④ 納入業者に返却している	28件	21.2%
⑤ その他	8件	6.1%



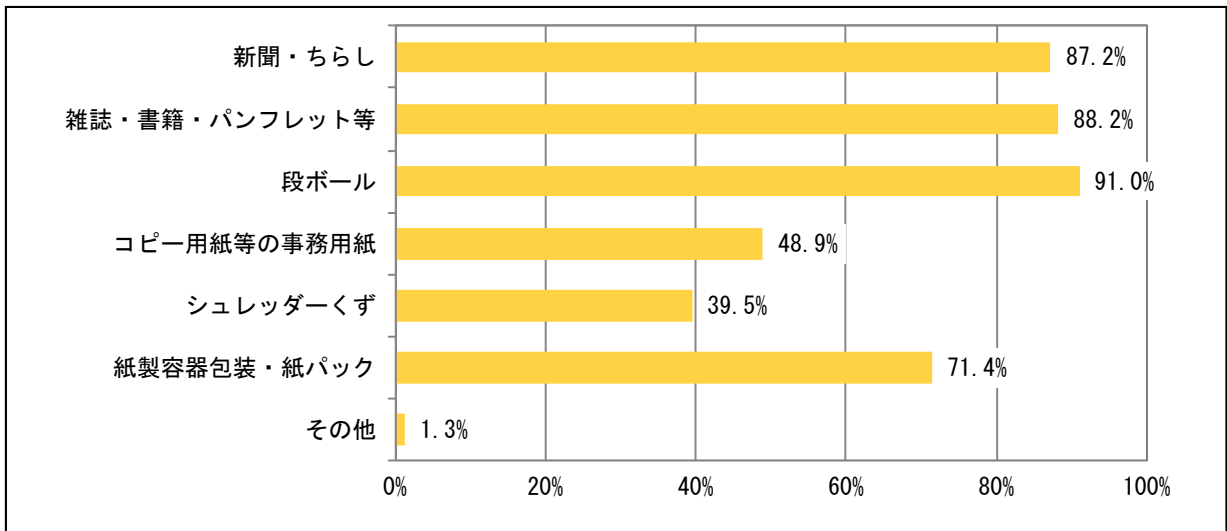
リサイクルの方法については、「資源回収業者に引き渡している」が約 67%、「自ら市の処理施設に持ち込んでいる」が 47%と回答しています。

問5 事業所で発生する紙類の種類について（複数回答）		
① 新聞・チラシ	78件	59.1%
② 雑誌・書籍・パンフレット等	76件	57.6%
③ 段ボール	100件	75.8%
④ コピー用紙等の事務用紙	90件	68.2%
⑤ シュレッダーくず	81件	61.4%
⑥ 紙製容器包装・紙パック	42件	31.8%
⑦ 紙類はほとんど発生しない	5件	3.8%
⑧ その他	0件	0.0%



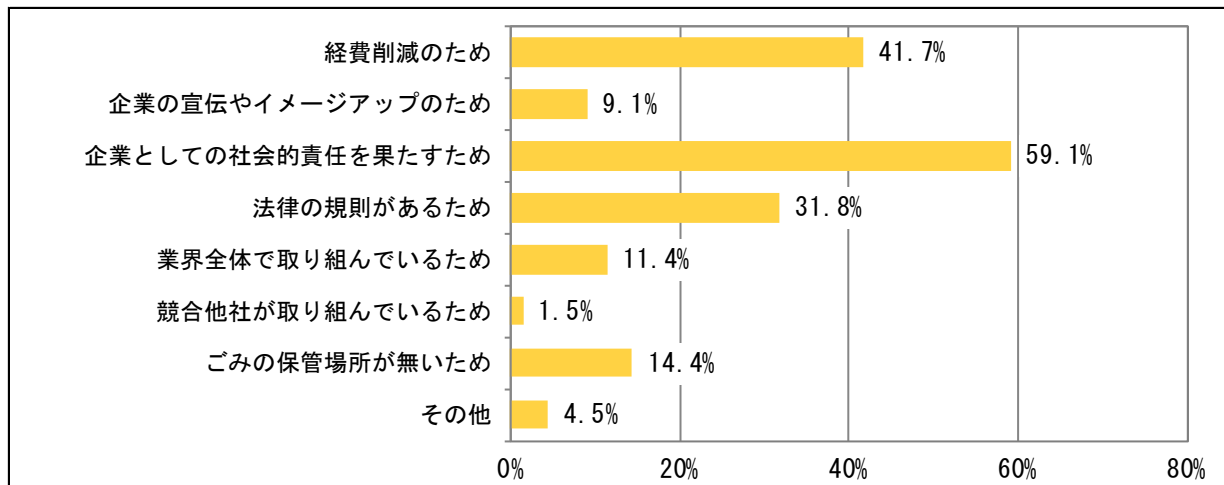
事業所で発生する紙類は、「段ボール」が約 76%と最も多く、次に「コピー用紙等の事務用紙」が約 68%の回答となっています。

問6 リサイクルされているものについて（問5で1～6を選択した事業者による複数回答）		
①	新聞・ちらし	68件 87.2%
②	雑誌・書籍・パンフレット等	67件 88.2%
③	段ボール	91件 91.0%
④	コピー用紙等の事務用紙	44件 48.9%
⑤	シュレッダーくず	32件 39.5%
⑥	紙製容器包装・紙パック	30件 71.4%
⑦	その他	6件 1.3%



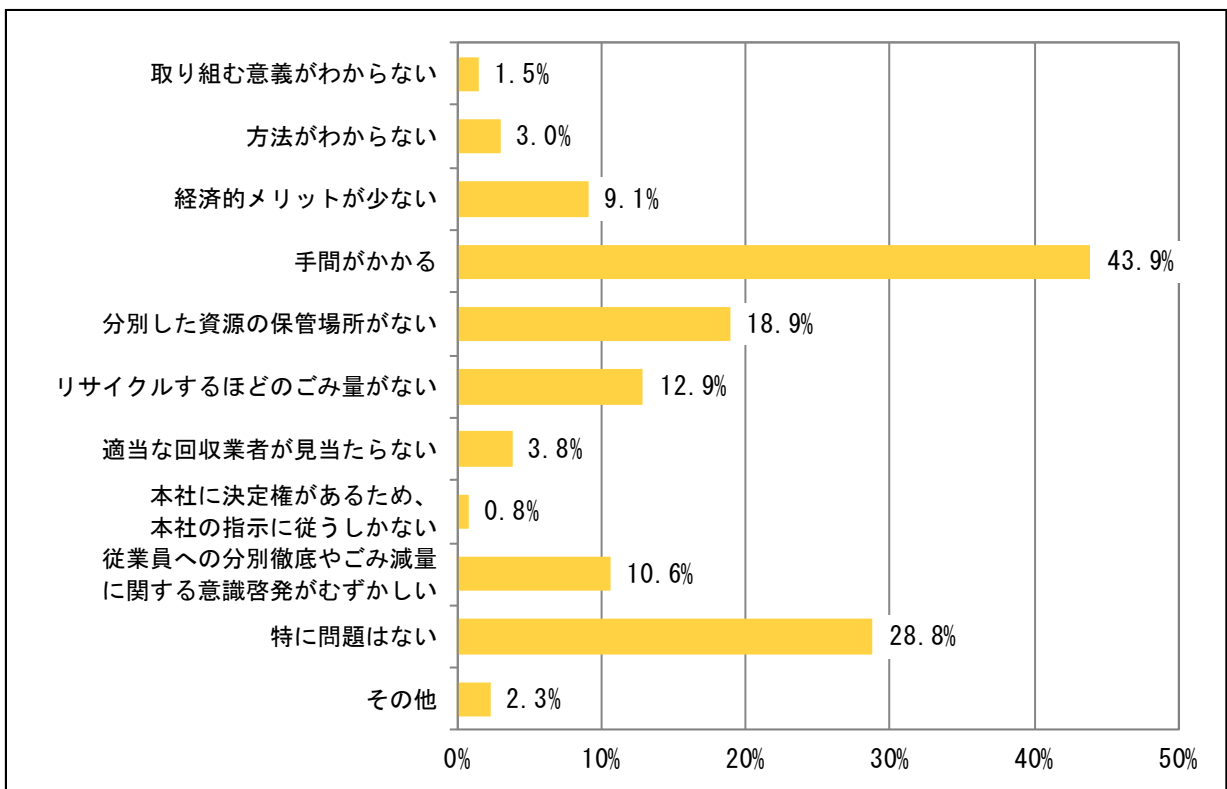
事業所で発生する紙類のうち「新聞・ちらし」、「雑誌・書籍・パンフレット等」、「段ボール」の85%以上がリサイクルされていると回答しています。「コピー用紙等の事務用紙」や「シュレッダーくず」については、発生している事業所数の半数はリサイクルしていない状況です。

問7 ごみ減量化やリサイクルに取り組む理由について		
① 経費削減のため	55件	41.7%
② 企業の宣伝やイメージアップのため	12件	9.1%
③ 企業としての社会的責任を果たすため	78件	59.1%
④ 法律の規則があるため	42件	31.8%
⑤ 業界全体で取り組んでいるため	15件	11.4%
⑥ 競合他社が取り組んでいるため	2件	1.5%
⑦ ごみの保管場所が無いため	19件	14.4%
⑧ その他	6件	4.5%



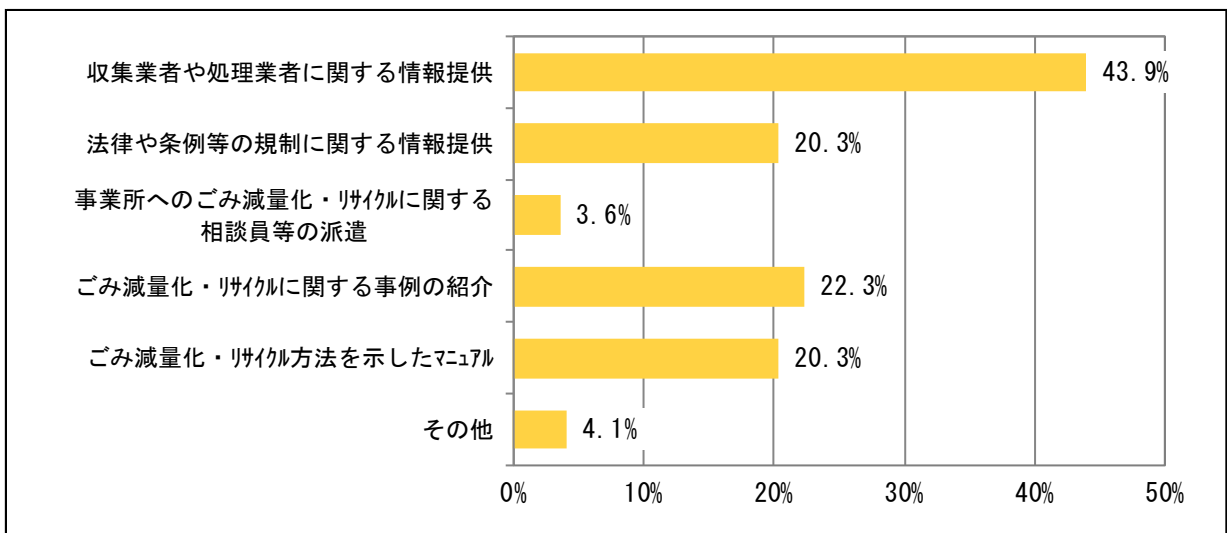
ごみ減量化やリサイクルに取り組む理由について、「企業として社会的責任を果たすため」が最も多い回答となっています。

問8 ごみ減量化やリサイクルに取り組むうえでの問題点について（複数回答）		
①	取り組む意義がわからない	2件 1.5%
②	方法がわからない	4件 3.0%
③	経済的メリットが少ない	12件 9.1%
④	手間がかかる	58件 43.9%
⑤	分別した資源の保管場所がない	25件 18.9%
⑥	リサイクルするほどのごみ量がない	17件 12.9%
⑦	適当な回収業者が見当たらない	5件 3.8%
⑧	本社に決定権があるため、本社の指示に従うしかない	1件 0.8%
⑨	従業員への分別徹底やごみ減量に関する意識啓発がむずかしい	14件 10.6%
⑩	特に問題はない	38件 28.8%
⑪	その他	3件 2.3%



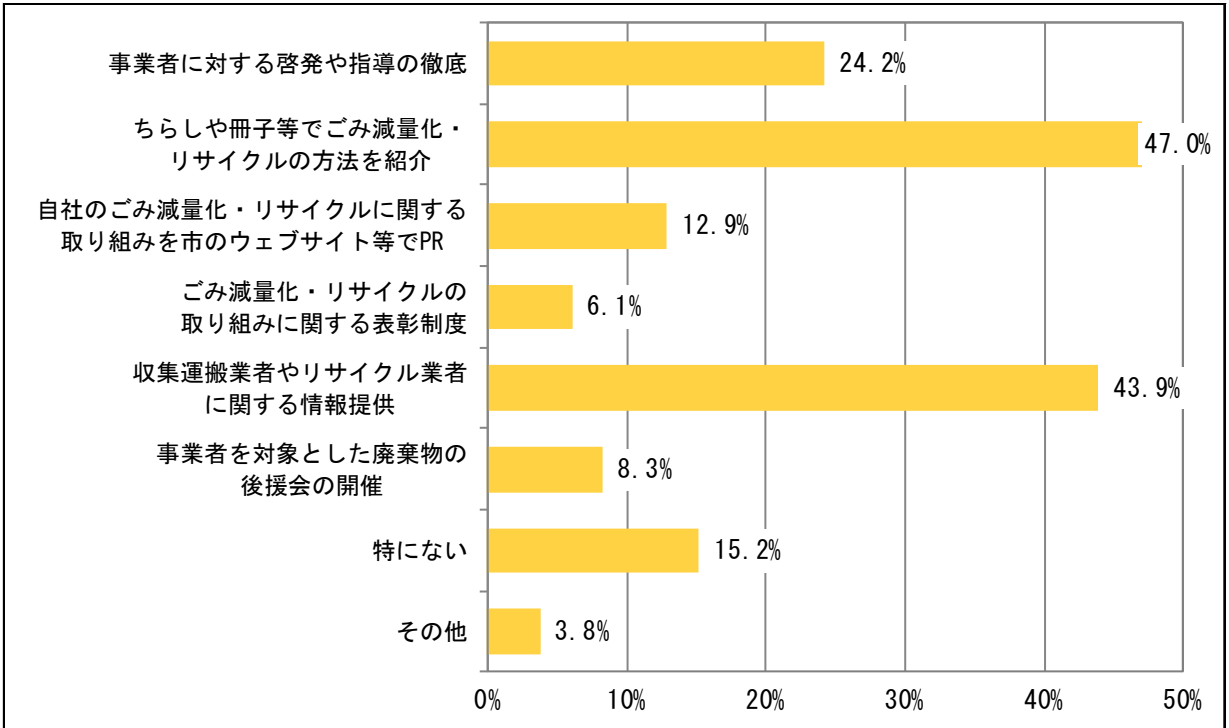
ごみ減量化やリサイクルに取り組むうえでの問題は、「手間がかかる」が最も多く約40%の方が問題視しています。「特に問題はない」と回答している事業者も約29%を占めています。

問9 行政に求める支援について（複数回答）		
① 収集業者や処理業者に関する情報提供	58件	43.9%
② 法律や条例等の規制に関する情報提供	40件	20.3%
③ 事業所へのごみ減量化・リサイクルに関する相談員等の派遣	7件	3.6%
④ ごみ減量化・リサイクルに関する事例の紹介	44件	22.3%
⑤ ごみ減量化・リサイクル方法を示したマニュアル	40件	20.3%
⑥ その他	8件	4.1%



行政に求める支援として「収集業者や処理業者に関する情報提供」との回答が約 44%と最も多く、適正に処理するための情報が必要とされています。

問10 今後、本市が取り組むごみ減量施策として効果的であると思う施策は何ですか。(複数回答)		
① 事業者に対する啓発や指導の徹底	32件	24.2%
② ちらしや冊子等でごみ減量化・リサイクルの方法を紹介	62件	47.0%
③ 自社のごみ減量化・リサイクルに関する取り組みを市のウェブサイト等でPR	17件	12.9%
④ ごみ減量化・リサイクルの取り組みに関する表彰制度	8件	6.1%
⑤ 収集運搬業者やリサイクル業者に関する情報提供	58件	43.9%
⑥ 事業者を対象とした廃棄物の後援会の開催	11件	8.3%
⑦ 特にない	20件	15.2%
⑧ その他	5件	3.8%



ごみの減量施策としては、「ちらしや冊子等でごみ減量化・リサイクルの方法を紹介」や「収集業者やリサイクル業者に関する情報提供」に40%以上の回答があり、情報提供の支援を多くの事業者が希望していることが伺えます。